PAT-NO:

JP401138538A

DOCUMENT-IDENTIFIER:

JP 01138538 A

TITLE:

PRODUCTION OF LIQUID CRYSTAL CELL

PUBN-DATE:

May 31, 1989

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

ODAI, HIROAKI

KAMAMORI, HITOSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

SEIKO INSTR & ELECTRON LTD

N/A

APPL-NO:

JP62298227

APPL-DATE:

November 26, 1987

INT-CL (IPC): G02F001/133

US-CL-CURRENT: 349/84, 349/FOR.113

ABSTRACT:

PURPOSE: To eliminate problems in appearance such as Newton's rings and to provide the title device which is strong to impact and is robust by adhering two sheets of liquid crystal cells over the entire surface.

CONSTITUTION: An epoxy adhesive agent 2 is printed in the peripheral part of the display part on an upper transparent substrate 11b of the lower liquid crystal cell and a sealing port to be sealed therein with the adhesive agent afterward is previously opened thereto. The upper liquid crystal cell is

laminated on the printed lower liquid crystal cell and the two cells are tentatively adhered by the adhesive agent 15. The low-viscosity epoxy adhesive agent 16 is then vacuum-injected into the spacing between the upper and lower liquid crystal cells and is cured to adhere two sheets of the liquid crystal cells and is cured to adhere two sheets of the liquid crystal cells over the entire surface. Impact resistance is thereby improved and the robust structure is obtd. Since the display surface is adhered by the transparent adhesive agent, the generation of the Newton's rings is suppressed.

COPYRIGHT: (C) 1989, JPO&Japio

母 公 開 特 許 公 報 (A) 平1 - 138538

⑤Int Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成1年(1989)5月31日

G 02 F 1/133

3 2 5

8806-2H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

公発明の名称 液晶装置の製造方法

到特 願 昭62-298227

愛出 願 昭62(1987)11月26日

79発明者 尾台

弘章

東京都江東区亀戸6丁目31番1号 セイコー電子工業株式

会社内

個発明者 釜 森

均

東京都江東区亀戸6丁目31番1号 セイコー電子工業株式

会社内

⑪出 願 人 セイコー電子工業株式

東京都江東区亀戸6丁目31番1号

会社

明 一個

1. 発明の名称

液晶装置の製造方法

2. 特許請求の範囲

(1)一対の透明基板間に液晶が挟持された液晶セルを 2 枚重ねた液晶装置の製造方法において、 2 枚の液晶セルを全面で接着することを特徴とする 液晶装置の製造方法。

四上記2枚の液晶セルを接着方法が、第1に表示部以外に接着剤を塗布して2枚の液晶セルを仮接着し、第2に2枚の液晶セル間の表示部に接着剤を注入して硬化させ2枚の液晶セルを全面接着することを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の液晶装置の製造方法。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明はワープロ、パソコン端末、テレビ、ビ デオ表示装置、計測器、車載用インストルメント パネル等に用いられる液晶装置の製造方法に関す

(発明の概要)

本発明は、2枚の被晶セルを積層させて、高コントラスト化。無彩色化を企った2層型液晶装置に関し、両セルを全面で接着することにより、ニュートンリングなど外観上の問題を除去し、衝撃に強い堅牢な2層型液晶装置の製造方法を提供するものである。

〔従来の技術〕

2層型液晶装置としては、第3図の如くゲスト ホスト型液晶装置において配向方向を変えた2枚 のパネルを積層させてコントラストを向上させた 物、第4図の如く180 以上のら旋構造を有する SBB型液晶装置に逆回転の色補正用液晶パネル を積層させ、SBB特有の色を消し白黒表示を可 能にした物が掲げられる。

前者は車載用インストルメントパネルとして既 に実用化されており、後者はワープロ、パソコン 端末として商品化が始まっており、今後益々その 用途が拡大していくと考えられる。

これら2層型液晶装置の構造は、第3.4図の如くスペーサー35で液晶パネル間を挟み筐体で保持するか、前者については3枚の透明基板で2層一体の液晶パネルを構成する方法がとられている。 (発明が解決しようとする問題点)

しかし、スペーサーと筐体で2枚のパネルを保持する構造は、耐衝撃性など信頼性に問題が有る。 その上、接構造は表示辺のセル間隔を一定に保持することが不可能であるため、ニュートンリング ができるという外観上の問題点を有る。

また、3枚の透明基板により2層一体の液晶パネルを構成する方法は、製造工程が複雑となり高価な衷示装置になってしまう。特にSBBの場合は液晶層の厚さを高精度に制御しなければならないため製造は実際上不可能に近い。

(問題点を解決するための手段)

本発明は上記問題点を解決するため、液晶セル の全面を接着するものである。具体的には、第1 に要示部以外に接着剤を印刷方式によって懐布し

2 図の如き形状で、スクリーン印刷によりエポキシ系接着剤21を表示部の周辺部に印刷する。ただし、第 2 図のように後に接着剤を封入すべき封入口をあけておく。次いで、上側液晶セルを印刷済下側液晶セル上に積層し、第 1 図の如く接着剤15により仮接着する。該エポキシ系接着剤は着色していても、多少気泡が混入していても、表示部外のため外観上の問題はない。

第2に、上下液晶セルの間隙に、低粘度のエポキシ系接着剤16を真空注入する。次いで、80 Wの紫外線ランプを15秒間服射すると、エポキシが硬化して2枚の液晶セルは全面で接着される。該エポキシ系接着剤は透明であり、かつ気泡の発生がないため外観上の問題はなくニュートンリングの発生を完全に防ぐことができた。

(発明の効果)

以上の如く、本発明によって 2 枚の液晶セルを 積層させて、高コントラスト化、無彩色化を企っ た 2 層型液晶装置に関し、両セルを全面で接着す ることにより、ニュートンリングなど外観上の問 て、該接着層で2枚の液晶セルを仮接着し、第2 に前記接着層の注入口から、表示部に透明接着剤 を注入して液晶セル全面を接着したものである。 (作用)

その結果、筐体で保持しなくとも耐衝撃性が向上し、きわめて整牢な構造となった。また、表示面が透明接着剤によって接着されているため、ニュートンリングの発生を抑えることが可能である。 (実施例)

次に図面を用いて本発明の実施例を詳細に説明する。

第1図は、本発明の実施例の模式断面図である。 図中、11 a、12 a、11 b、12 b は透明基板で、11 a、12 s は上側液晶セルの透明基板、11 b、12 b は下側液晶セルの透明基板である。 該透明基板の 間挟には液晶層 13 a、13 b が挟持され、シール新 14 a、14 b によってシーリングされている。この ように構成された 2 枚の液晶セルを、以下の方法 で積層する。

第1に、下側液晶セルの上側透明基板上に、第

題を除去し、衝撃に強い整牢な2層型液晶装置を 製造することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の実施例の模式断面図、第2図 は本発明の実施例の周辺部シール形状図、第3図. 第4図は従来の液晶表示装置の模式断面図である。

11 a、12 a・・・上側液晶セルの透明基板

11 b, 12 b・・・下側液晶セルの透明基板

13a.13b···液晶層

14a, 14b···シール剤

15, 16・・・・接着剤

以上

出願人 セイコー電子工業株式会社

